

出石生まれコウノトリ「ボンスニ」 韓国で再び目撃される

田んぼを歩くボンスニ117日、
韓国・金海市(リ・チャンウ氏提
供)



2014年3月に韓
国・慶尚南道の金海
市に移動し、「ボンス
ニ」の愛称で親しまれ
ているコウノトリの雌
4歳が、再び同市に移
動していることが、12
日までに分かった。現
地の環境保全団体スタ
ッフが発見した。

12年、豊岡市出石町
伊豆の人工巣塔から巣
立った。野生復帰事業
の開始後、国内生まれ
として初めて海外で確
認されている。昨年4

月、豊岡に戻っている
のが目撃されていた。
「慶尚南道フムサー
今月7日、金海市にあ
る花浦川湿地公園近
くの田んぼで餌を探す
姿を見つけた。14年に
もボンスニが目撃され
た湿地という。
県立コウノトリの郷
公園(豊岡市祥雲寺)の
大迫義人研究部長補佐
によると、これまで現
地でロシアから渡った
と思われるコウノトリ
数羽と行動を共にして
いる様子も目撃された
といい、「韓国に滞在を
続ければ、現地でペア
になる可能性も高ま
る。注目したい」と話し
ている。(斎藤雅志)

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

名前

① 2012年に豊岡市出石町で生まれた
コウノトリが、韓国で初めて発見されたのは
いつですか？

② 韓国では、どのような名前で呼ばれていましたか？

③ 昨年4月には、どこで発見されましたか？

④ 今月7日には、どこで発見されましたか？

⑤ この記事を読んだ感想を書きましょう。

先生や友だち、おうちの方に感想を書いてもらいましょう。